



KK
デジタルTERA 小座

江戸時代の侍子屋をヒントに、今、そしてこれから「どう生きるか」
デジタル時代におけるTERAサイズの学びの場で考えてみませんか？

自宅で母と夫を看取り、～「介護」が愛おしい～ 一人になってしみじみ思うこと

「介護って、何することなのか分からない」「大切な人の看取り、寄り添いたいけど仕事を離れて介護に専念なんて無理」「少子高齢化、人手不足、自分の老後は、誰が介護してくれる」…「介護」という言葉には、どの世代にも様々な思いがあります。介護の在り方も生活の考え方も、100人いれば100通り、人間誰しも巡る人生の終わりのこと、76歳の藤原さんは、どう受け止めどう向き合ってきたのでしょうか？

40代で管理職を務めながら母の介護と看取りを経験し、最近ではレビ一小休生活知恵の夫の在宅介護を続け、自宅で看取りまでを続けた新著『いのちの声： 八高治久に伴走した日々』を発行した藤原さんの、長年の介護経験や人生観に照らし、「介護と看取り」について一緒に考えてみませんか？

2023年

11/30 (木)
18:30～19:45

「終了後、交流お時間 20:30まで ※会場のみ」

プログラム内容（予定）

- オープニング・ゲスト紹介
- TERAのイベント・トーク
- 皆さまの思い！ インタビュー
- みんなの集いQ&A
- 交流会（会場のみ）

※本場参加の皆さまとは異なる内容に変わります。トーク内容は参加が義務ではありません。

KKの番組またはライブ参加のどちらかを
お選びください



著者
八高治久
『八高治久に伴走した日々』
(2023年10月発行)
© 著者八高治久

ゲストエキスパート



氏名
藤原 瑠美さん スウェーデン福祉研究者 医療福祉ジャーナリスト

1947年東京都生まれ。東京女子大学卒業後、読売新聞に入社。読売新聞の母の在宅介護、高齢者の世に活躍し、スウェーデン・エストニアでの高齢者ケアの現場を巡る。2013年にニルスの賞の認知症ケア 医療から暮らしに転換するスウェーデン・エストニアで医療ジャーナリスト協会賞を受賞。2015年、国際医療福祉大学大学院で医療福祉ジャーナリズム学の博士号を取得。その後著書『ボケママからの贈りもの～働きながらの在宅介護の現場ニルスの賞の認知症ケア～エーデルン改革から15年目のスウェーデン』

※2010年11月18日キスアート・スタジオゲスト

モデレーター

氏名
伊庭野 基明さん KK?グローバルキャリアカウンセラー



このプログラムは、PCやスマートフォンで、Question・コメント・アンケート回答ができるTOPPA(デジタル・プレゼンテーションプラットフォーム)を活用した双方向参加型です。会場参加の方は専用PCやスマートフォンをお持ちいただきご参加ください。

※特別価格：¥6,500(税込) 早稲田大学2023年 第72期11月号

『オンライン投票』
『チャット』で共に考えよう！

03-3288-1921
kk2seminar@avcc.or.jp
